



●安曇地区●	
683世帯	
男女	666人
	650人
合計	1316人
R4.7.1現在	

ウエストーン祭 記念山行 6/4

ウエストーン祭で楽しかったことは、やはり登山だ。他の人達も来ていて、自分もとても楽しみにしていた。「長いなあ」と思いつつながら登り始めた。初めはゆるい道だったが、どんどん急になり、きつくなっていた。そして一番きつい所は、落ちると流されてしまうと。初めはゆるい道だったが、どんどん急になり、きつくなっていた。そして一番きつい所は、落ちると流されてしまうと。初めはゆるい道だったが、どんどん急になり、きつくなっていた。そして一番きつい所は、落ちると流されてしまうと。

その後の旅館でもおいしい食べ物が出てきて、その二日間は最高の二日間だった。

安曇小6年 齋藤柊真



▲ガイドの次田経雄さんから明神岳の説明を受けました。(梓川畔にて)

ウエストーン祭記念山行が三年ぶりに開催されました。今年は大野川中3年 マカリストア・エゼキエル 上高地側から、明神と徳本峠小屋の往復コースを歩きました。当日は、天気にも恵まれて絶好の登山日和。白沢沿いを歩き始めてしばらくすると、樹齢約百七十年の天然カラマツが見えてきます。登山道はニリンソウやサンカヨウなど花盛りで、

ウエストーン祭記念山行には初めて参加しました。第2人と一緒に参加しました。目的地までは、自分が考えていた以上に遠く、4時間以上かかりました。とても疲れたけど楽しく歩くとができました。歩いているとき、「登山道は、誰も歩いていないところに道を作れば、自分でも名前が付けられる。」と教えてもらい、登山道を自分の力で作ってみたいなあと感じました。貴重な体験をすることができました。

さらに途中振り返ると残雪の明神岳・穂高連峰が新緑の中に美しく見えました。例年の島々谷から歩く約十時間コースも歩き堪えがあり楽しいですが、体力的に中々ハードな面もあります。しかし今回のような短時間で標高差も少ない山行は初心者の方も参加しやすく、良かったと思います。宿泊で利用した明神館では、お風呂で汗を流して、おいしい夕食に大人も子どもたちも楽しい時間を過ごしました。一九八〇年代から続くこの記念山行をこれからも伝統行事として残していけたらいいなと思います。

安曇山岳会 大野美里

ちよつと ちよつと きまろし

〜月1回治療ついでにちよつと息〜

毎月3回目の水曜日

昨年引き続き、今年も大野川区事務所で行われています。



乗鞍うまの工房のもの作り立の商品が大好評なことに加え、久しぶりの顔合わせに話はずませる方が多くいらつしやいます。

稲核町内公民館 敬老会開催 3年ぶりに開催! 6/12

コロナ禍の中、公民館活動をどうしていくのか、地域でのつながりをどうしていくのか、平田正恒公民館長をはじめとした役員で話し合いました。特に高齢者の方は、感染したときのリスクが大きいため慎重に検討した結果、感染対策をしっかりして、短時間で、飲食を伴わない形で実施することとしました。果たして、それで参加してくれるのか不安を抱えての企画となりましたが、当日は、3年前と変わらない人数の皆様に参加していただくことができました。

開始時間が近づき、続々とお越しになる皆様をスタッフが出迎えます。コロナ禍もあり、本当に久しぶりにお顔を拝見する方々と「ご無沙汰しております」「お元氣そうで！」などと挨拶をかわすと、皆さんが笑顔でお応えいただき改めて開催して良かったと感じました。記念撮影後、代表者からご挨拶の言葉をいただき、演芸をご覧いただきました。まずは、稲核芸能保存会の「獅子舞」と「稲核囃子」。次に地域づくりセンターの大野センター長とスタッフの皆様に登場いただき、「いきいき百歳体操」の説明と体験を行いました。

椅子に座ったままでのゆっくりとした筋肉トレーニングです。その場で皆さんの参加の意向をお聞きし、前田寿久町会長がリーダーとなり町会主導で週2回実施していくことになりました。最後に、伝統の秋祭りの懐かしい映像や、稲核の昭和30年代からの映像をご覧いただきました。あまりの懐かしさに涙を流されていた方も多くいらつしやいました。短い時間ではありましたが、「あゝ、堪能した!」との言葉を頂き、やはり、人と人とのふれあいやコミュニケーションは地域社会にとっても大切なものであることを再認識することができたイベントとなりました。

社会部部长 有馬徹



▲稲核町会敬老会

安曇小中学校

元気な
安曇っこ

大玉運び



【安曇小と安曇中と】

運動会も終わり、6月を迎えました。安曇校では引き続き小学生と中学生が一緒に触れあい、楽しみながら活動しています！

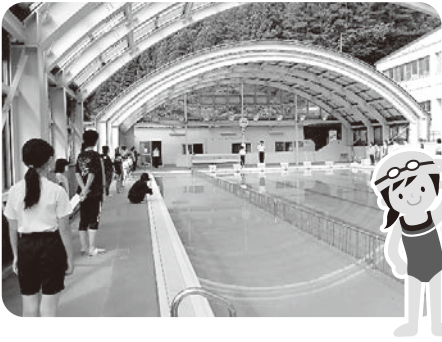
【「走る会」がはじまりました】

安曇小中学校恒例の走る会。小学校1年生は初めての走る会にドキドキワクワク！校庭に全校があつまり、クラス毎に準備運動をして、元気に周回コースを走りました。



【プール開き】

今年度も水泳学習がスタートしました。小学校と中学校の代表者が水泳学習のめあてを発表しました。山口校長先生より、水でたくさん遊び、親しみ、水と仲よくなっていこう！



運動会はドタバタ

今年の運動会は、一言で表すと「ドタバタ」でした。では、どんな「ドタバタ」だったのか、作文を書きつつ、ふり返ってみたいと思います。

まず、一つ目のドタバタは、玉入れに行く前のことです。みんな、「外ではマスクを外して良いです！」と言われていたから、てっきりマスクをジップ

【安曇校の校庭。昼休み。】

小学校の1・2年生と中学生が一緒にサッカー！中庭の人工芝で一緒に遊ぶ日もあります。

こんな光景も、安曇校ならではのです。



ロックに入れてしまったので。それでそのまま玉入れのスタート位置に着くと、先生達が「マスクを取ってきて下さい！」

と言うではありませんか！みんなドットタンバッタン取りに行きました。そんな始まりだったけど、赤組は異様に玉入れが上手くて、玉を全部入れてしまっ

たのです！玉入れで全部入れてしまっなんて今まで見たことも聞いたこともなかったから、つい興奮して立ち上がってしまった。ものすごい勢いでした。

二つ目のドタバタは、靴飛ばしゲームです。靴を飛ばして、遠くのフラフープの中に入れるというゲームです。なぜドタバタかという、本当に名前の通り、音がドタバタしているからです。そして、このゲームは大人も一緒に、一番盛り上がっていました。友達も、「大人たち、どれだけ嬉しいんだ!？」とか

んとか言っていました。本当にみんな幸せそうで、なんだか楽しいドタバタでした。(ちなみに、玉入れも大人がとても盛り上がっていました。)

最後のドタバタは、大玉運びリレーです。これも大人の方々



が参加して、みんなで盛り上がりました。童心に返るとはまさにこのことですね。しかも、今年の大玉運びは、今までやったことのない、二つの棒に乗せて運ぶというものでした。とても楽しかったです。

こうふり返ってみると、人間、楽しかった出来事をふり返ると、とても気分が明るくなるなあと感じました。以上、「運動会は大玉運び」でした！

1年 楓 朗人